

## 推論

## わかるところから図表にする

与えられた条件をもとに、確実に言えること、優勝したチーム、試合の勝敗、割り当てられた部屋、座る場所など、さまざまな結果や成績などを求める問題です。解法としては、各種の表を作成して検証するもの、図をかいて考えるもの、推理力をはたらかせるものなどがあります。「こうすれば解ける」という公式やルールはありません。数多くのパターンの問題を練習して、柔軟な思考力とすばやい解答力を養成しておきましょう。

## SAMPLE 1

安藤、石井、宇部、江口、岡本の5人が品物の交換会を行った。めいめいがそれぞれ1個ずつの品物を持ち寄って、品物にナンバーをつけ、くじびきで引き当てたナンバーの品物を受け取るものである。その際、次のようなことがわかった。

- 1 安藤の受け取った品物は、宇部が持ってきた品物ではなかった。
- 2 石井の受け取ったものは、宇部が持ってきた品物ではなかった。
- 3 江口は、安藤または石井が持ってきた品物を受け取った。
- 4 宇部は、石井または岡本が持ってきた品物を受け取った。
- 5 全員が、自分が持ってきた品物を引き当てることはなかった。

〔問い〕 宇部が持ってきた品物を受け取ったのは次のうちどれか。

- A 安藤 B 石井 C 江口 D 岡本

## STEP 1 与えられた条件を表にまとめる

5人で、品物の交換をします。だれが持ってきた品物を受け取るのかは、くじびきで決めるのです。自分が持ってきた品物を自分で受け取るという可能性もありえますが、ここでは条件5により、そのケースはありませんでした。

さて、解答の手がかりとしては、「表や図を作って考える」ことです。ここでは、下のような「リーグ戦」形式の表を作って解いてみましょう。

持って来た人 受け取る人	安藤	石井	宇部	江口	岡本
安藤	×5		×1		
石井		×5	×2		
宇部	×4		×5	×4	
江口			×3	×5	×3
岡本					×5

推論の問題は、わかっていることを次々と表（またはグラフや図など）に書き入れていくことです。

この問題では、「これはありえない」と判断できることを、表中に「×」印で書き入れてみましょう。

たとえば、1「安藤の受け取った品物は、宇部が持ってきた品物ではなかった」という結果では、

宇部→安藤（「→」…宇部の持ってきた品物は安藤が受け取ることを表す）は×になります。

同様に、2の結果より、宇部→石井、3の結果より、宇部→江口、岡本→江口、4の結果より、安藤→宇部、江口→宇部がそれぞれ×になります。また5より、安藤→安藤などはすべて×になります。×の後の数字は、結果の番号を示しています。ここまで作成した表を見てみましょう。問われているのは、宇部が持ってきた品物をだれが受け取ったのかわかればよいのです。5人が持参した品物を、それぞれだれがくじ引きで引き当てて受け取ったのかをすべて調べて答える必要はありません。要領よく解答することが必要です。